




請 願 書

紹介議員
(筆頭議員)

相馬正人 

印

令和元年 12 月 11 日

桶川市議会議長

請願者 桶川市立児童発達支援センター
いずみの学園 父母会
住 所 [REDACTED]
氏 名 令和元年度父母会長
[REDACTED]

下記のとおり請願いたします。

1. 件 名

児童発達支援センターいずみの学園の移転 について

2. 要 旨

桶川市立児童発達支援センターいずみの学園（桶川市川田谷 1991-1）について水害危険度の低い場所への移転を早急に検討し実現して頂きたい。

3. 理 由

桶川市立児童発達支援センターいずみの学園（桶川市川田谷 1991-1）は、障害やその心配のある幼児が療育を受ける施設です。園舎は現在、荒川土手のすぐ横、石川川の樋門のすぐ近くに立地しています。

2019 年 10 月 12 日、台風 19 号の直撃により石川川樋門が閉じられて一帯が浸水し、いずみの学園園舎は床上 30～40cm の浸水被害を受けました。これにより約 10 日間の休園と 1 カ月以上の短縮療育措置が取られ、園児は適切な療育が受けられず、また家族は突然の介護負担増となり、子ども親も精神的・体力的に苦しい日々が続きました。

浸水被害は今回が初めてでなく、父母会の記録（今回の浸水で被害を免れたノート 3 冊）によれば少なくともこの 20 年で 3 回の床上・床下浸水に見舞われています。また、桶川市作成の洪水ハザードマップでは、現在の立地は家屋倒壊等氾濫想定区域内であり、堤防決壊の際は建物の倒壊・流出の危険が高く水平避難の判断が必要とされる区域です。

このような場所に子供の施設、まして障害児施設があることは、大変危険で不適切であると考えます。有事の際には、園児や職員の方々の安全が確保できず、場合によっては命を落とすことさえあると強く危惧しています。気候変動は世界的にも大きな問題で、先の台風と同規模の災害や、天候の急変による大雨がまたすぐに起こらないとも限りません。早急な対応を切に願います。